

Nomoadでのプレゼンテーション運用方法について

(Nomoad Version 3.2, 3.2 カスタム版)

Nomoadではさまざまな運用方法でプレゼンテーションを表示できます。

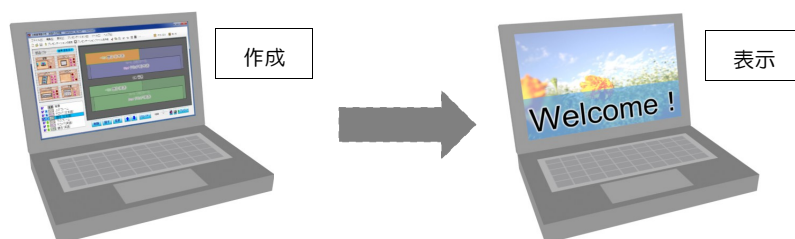
- パソコン1台でプレゼンテーションの作成から表示まで行えます。
- メモリーカードにデータファイルを書き出し、別に用意した表示用パソコンでプレゼンテーションを行えます。メモリーカードの差し替えによってプレゼンテーション中でも更新できます。
- ネットワーク（LAN）上のファイルサーバーなどの共有フォルダにデータファイルを置き、複数の表示用パソコンでプレゼンテーションを行えます。プレゼンテーション中でも更新が可能です。
- マルチディスプレイ環境において、プレゼンテーション中に別の作業を行えます（ウィンドウモード）。
- Nomoad カスタム版ではリアルタイム情報を表示することができます。共有フォルダやWEB上に置いた外部のファイル（テキストファイル・CSV ファイル・XML ファイル・各種画像/動画/音声ファイル）の更新を定期的にチェックし、リアルタイムに情報の表示を更新することができます。

目次

プレゼンテーションの作成と表示を1台のパソコンで行う場合.....	2
メモリーカードを介して表示用パソコンでプレゼンテーションを行う場合.....	2
ネットワーク（LAN）内での運用を行う場合.....	3
マルチディスプレイ環境での運用を行う場合.....	5
リアルタイム情報を表示する（Nomoad カスタム版のみ）	6

プレゼンテーションの作成と表示を1台のパソコンで行う場合

Nomoad ではプレゼンテーションの作成と表示を1台のパソコンで行うことができます。

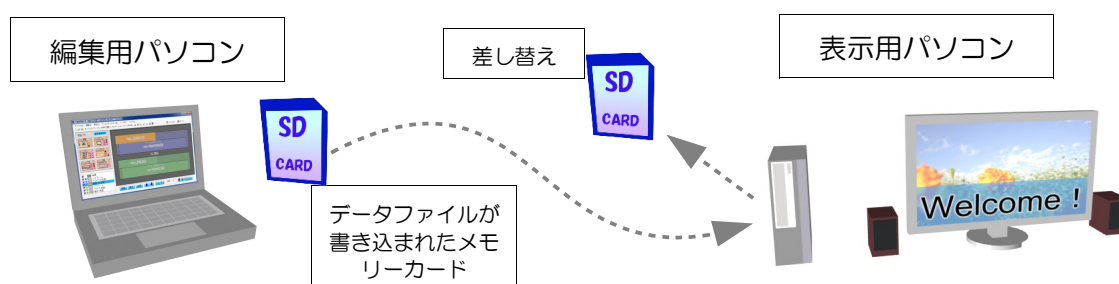


メモリーカードを介して表示用パソコンでプレゼンテーションを行う場合

メモリーカードにデータファイルを書き出して表示用パソコンでプレゼンテーションを行う場合の例です。パソコンにはメモリーカードリーダー等の機器が装備されている必要があります。

注意：表示用パソコンにのみアプリケーションキーが必要です。

●例：メモリーカードを介してプレゼンテーションを行う場合



- 表示用パソコンでは、パソコン起動時に自動的にプレゼンテーションを開始することができます。また、指定した時刻に自動的にパソコンをシャットダウンすることもできます。
- 表示用パソコンでは、キーボードの1～9キーを押すことにより、複数のプレゼンテーションを切り替えることができます。（あらかじめキーにプレゼンテーションを割り当てる必要があります）
- メモリーカードを使用した場合、表示中でも表示用パソコンから抜き差しすることが可能です。編集用パソコンでメモリーカードへデータファイルを作成し、表示用パソコンで使用中のメモリーカードと差し替えることで、表示中のプレゼンテーションを更新することができます。（メモリーカードではなくハードディスク等を使用した場合は故障の原因となりますので表示中の抜き差しは行わないでください）

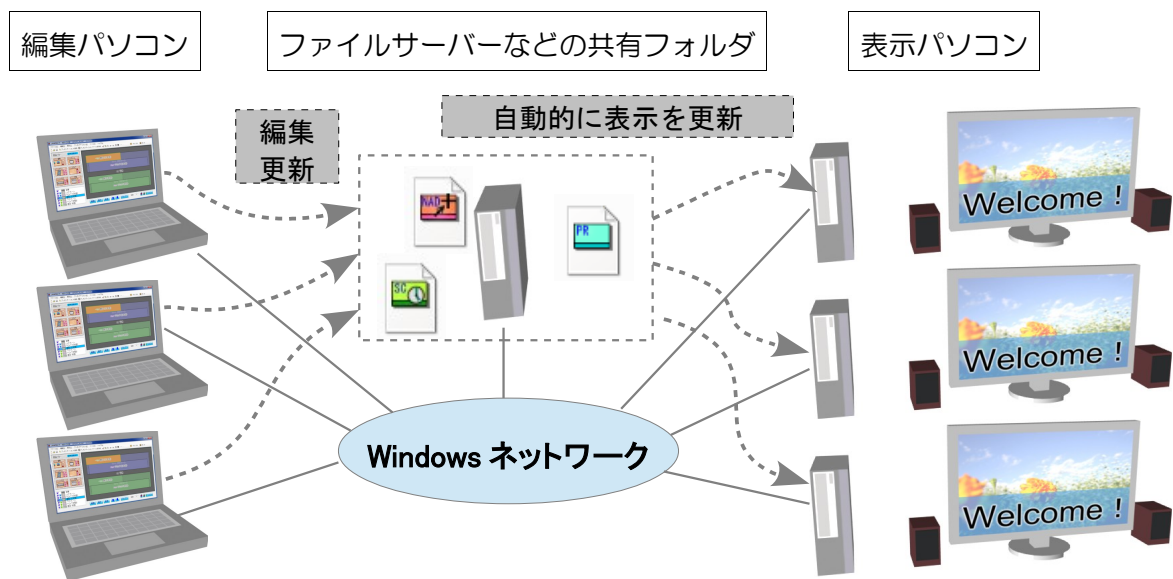
ネットワーク（LAN）内での運用を行う場合

Nomoad ではファイルサーバーなどの Windows ネットワーク上の共有フォルダにプレゼンテーションファイルやスケジュールファイル等のデータファイルを保存できます。

また、Nomoad を使用して表示用パソコンの画面表示内容を随時更新することができます。

Nomoad カスタム版ではテキストファイルや CSV ファイルを使用してリアルタイム情報の表示を行うこともできます。（詳しくは P6「リアルタイム情報を表示する（Nomoad カスタム版のみ）」を参照してください）

注意：表示用パソコンにはそれぞれ別のアプリケーションキーが必要となります。



※カスタム版ではリアルタイム情報の表示も可能

※共有フォルダに同時に接続できるパソコンの数は共有フォルダの設定やサーバーの設定によります。同じプレゼンテーションを表示する表示用パソコンは5台以内とすることを推奨します。

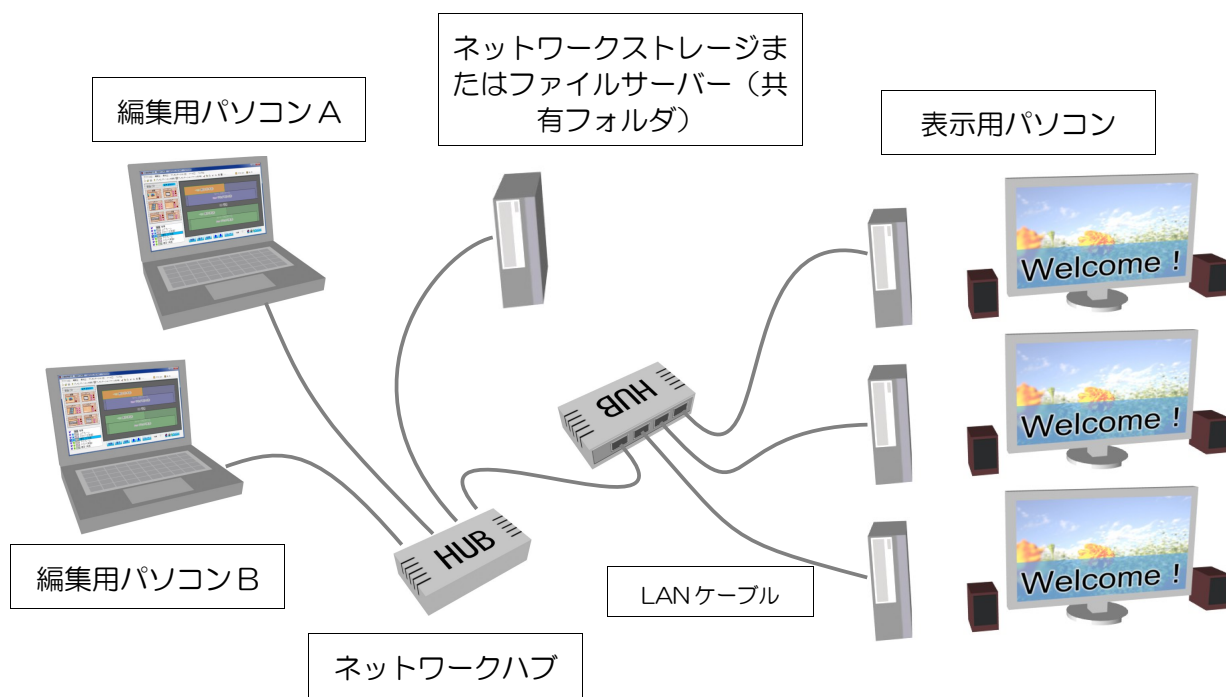
※同じデータファイルを複数の編集用パソコンから同時に編集することはできません。

※編集用パソコンと表示用パソコンがネットワーク上の共有フォルダの中身を読み込んだり書き込んだりできるような状態であることを確認してください。そうでない場合は、共有フォルダへの読み書き権限を設定する必要があります。ネットワーク管理者にご相談ください。

※表示用パソコンでネットワーク上の共有フォルダ内のファイルを使用する場合、表示パソコンの Windows ログオンユーザー名で共有フォルダにアクセスする必要があります。その他のユーザー名で共有フォルダにアクセスした場合、ファイルを正しく読み込めない場合があります。そのような場合はネットワーク管理者へご相談ください。

●例：共有フォルダ内のデータファイルの編集・表示を行う場合

複数の編集用パソコンからネットワークストレージまたはファイルサーバー内の共有フォルダに保存してあるデータファイルを編集したり、複数の表示用パソコンで表示する場合の接続例です。

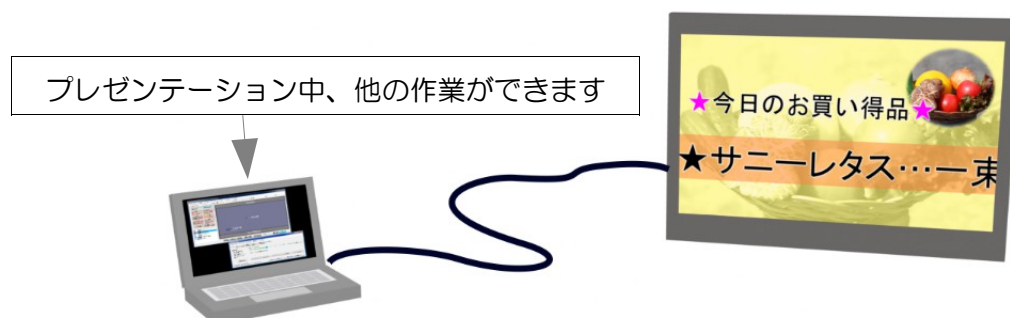


- 表示用パソコンでは、パソコン起動時に自動的にプレゼンテーションを開始することができます。また、指定した時刻に自動的にパソコンをシャットダウンすることもできます。シャットダウンする時刻はデータファイルで指定するか、表示用パソコンで表示用パソコンごとに設定します。
- それぞれの表示用パソコンでは、表示用パソコンのキーボードの1～9キーを押すことにより、複数のプレゼンテーションを切り替えることができます。（あらかじめキーにプレゼンテーションを割り当てする必要があります）
- 共有フォルダに保存されている、表示中のデータファイルを更新することにより、表示用パソコンの画面表示内容を随時更新することができます。

マルチディスプレイ環境での運用を行う場合

Nomoad では複数のディスプレイを接続したパソコンにおいて、あるディスプレイにてプレゼンテーションを表示しつつ、他のディスプレイで別の作業を行うことができます。

●例：プレゼンテーションを表示しつつ、他のディスプレイで別の作業を行う



- NomoadPR の「画面の設定」ウィンドウで、画面モードを「ウインドウモードで表示する」に設定する必要があります。
- パフォーマンスが低下する場合があります。
- プレゼンテーション中に同じパソコンでプレゼンテーションの更新作業を行うこともできます。

リアルタイム情報を表示する（Nomoad カスタム版のみ）

Nomoad カスタム版では、共有フォルダやWEB上に置いた外部のファイル（テキストファイル・CSV ファイル・XML ファイル・各種画像/動画/音声ファイル）の更新を自動的にチェックし（最短2秒間隔）、そのファイルの内容を画面に反映することができます。主にシステム組込み業者様向けの運用方法です。

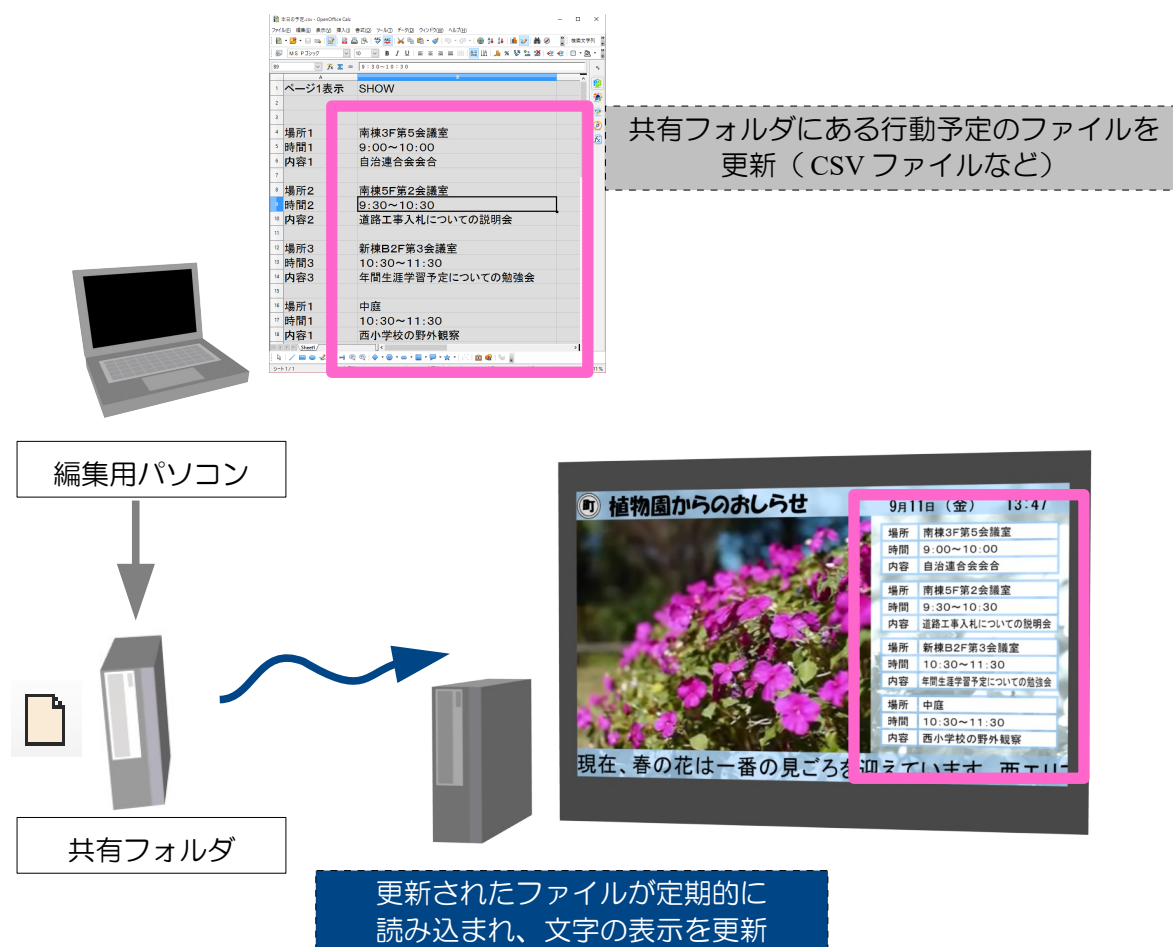
例えば、ほかのソフト（ツール）を利用し、

- ・エクセル等で行動予定やメッセージを編集（CSV ファイル）し、画面にリアルタイムに表示
- ・温度センサーを用いて現在の気温を表示（テキストファイルやCSV ファイルに情報を書き込む）
- ・現在の発電量を表示（テキストファイルやCSV ファイルに情報を書き込む）
- ・発電量グラフを表示（指定した画像ファイルを書き替える）

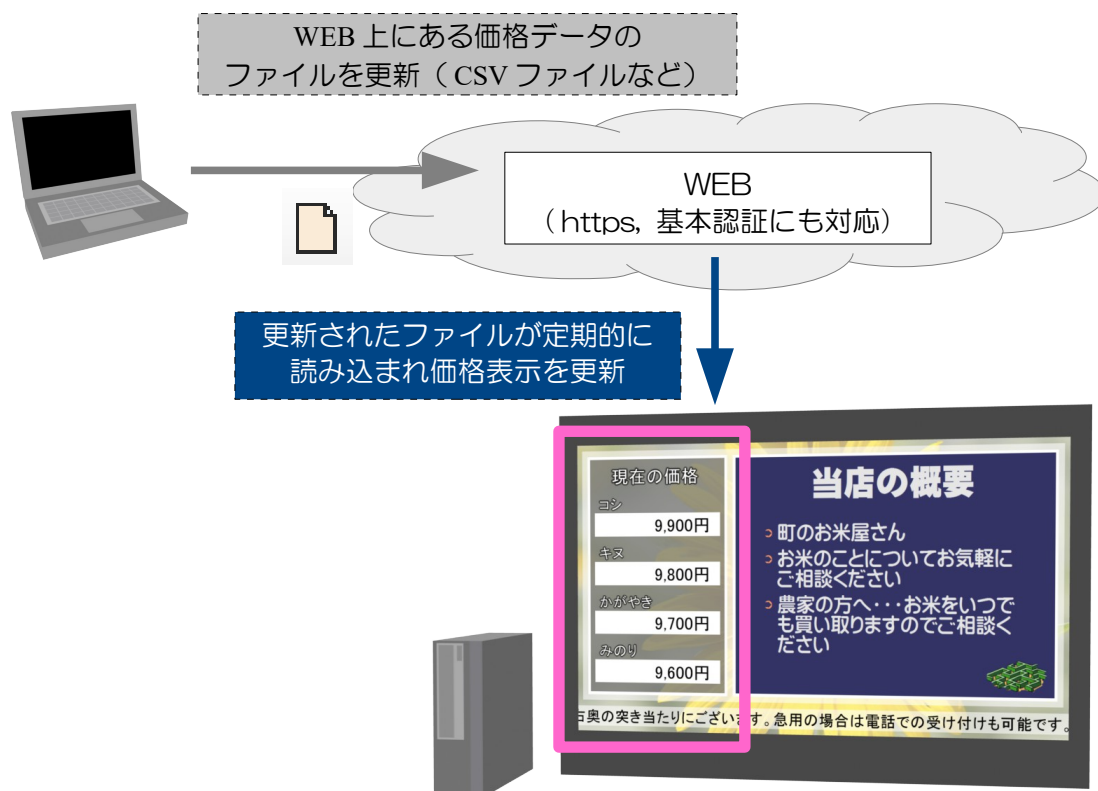
など、様々な用途に応用できます。

詳しくは Nomoad カスタム版の各種カスタム機能説明書をご覧ください。

●例：行動予定などをリアルタイムに表示する（共有フォルダ上のファイルを使用する場合）



●例：価格データをリアルタイムに表示する（WEB 上のファイルを使用する場合）



●例：太陽光発電の現在の発電量をリアルタイムに表示する（共有フォルダにデータを置く場合）

